

近藤議員

教育の充実で 少子化対策を

町長

振興策を 町民にPR



【近藤】少子化が進んでいる。学校現場での影響は。

【教育委員長】各校で1学年1学級という状況が増えてきた。互いに切磋琢磨する機会が少なくなり、人間関係が固定化し、多様な考え方が育ちにくくなることを心配している。



中学校のグループ学習

【近藤】教育施策の充実によって、定住・少子化対策がはかれるのでは。
【教育委員長】教育の充実は定住化の大きな要因。多様なニーズに適応した施策を通じ、努力している。
【近藤】県平均に比べ、学習塾の利用が少ない。学校での補習授業の実施や、塾の利用者に補助金を交付するなど、学力

向上のための施策は検討できないか。
【教育委員長】学校の授業が第一。授業の充実と家庭学習の定着が先決。
【近藤】定住策として教育振興をはかるのなら、他の市町村と教育水準が同程度では魅力がない。魅力づくりとPRは。
【町長】町民が町内で子育てしたいと思えるような、町民向けのPRも大切と考

野口議員

最高責任者の 自覚を

町長

気をつけて 対応する



【野口】3月議会閉会后、サッカー場関係予算などの否決を受け、町長は「否決した議員は責任の重さを自覚しているだろうか。否決する以上は、サッカー場整備計画を上回る提案を出してもらいたい」とマスコミの取材に答えた。

新聞にも掲載されており、テレビのニュースでは町長自身が述べていた。

町長の職務として、「施設の管理などをみずからの責任において誠実に実行しな

ければならない」と定めている地方自治法にそむいている。町長は非を認めながら発展に向けて考えていく姿勢、最高責任者としての自覚をもっと高めてもらいたい。

【町長】マスコミの報道などによって、町民に心配をかけた。マスコミ対応は、今後とも気をつけたいと思う。

サッカーグラウンド
大山町議会が
整備予算否決
大山町議会は3月定例会最終日の25日の本

会議で、町営の休養施設「山香荘」（大山町加茂）にサッカーグラウンド2面などを整備する経費を盛り込んだ来年度の特別会計予算案など2議案を反対9、賛成8の小差で否決した。一般会計当初

←日本海新聞
平成23年3月26日掲載